



厚真町を現地調査し関係機関に支援要請

立憲民主党北海道連合は9月6日に発生した北海道胆振東部地震の対応のため災害対策本部を同日設置しました。副本部長を務める道下大樹さんは8日、対策本部長の佐々木隆博衆議院議員らとともに震度7を観測した厚真町の現地調査をしました。宮坂町長からは、被害状況や避難者の様子とともに、水、電気、通信の復旧や、災害ボランティアの受入れに向けた支援要請を聞き取りました。吉野地区・幌内地区では、崩れた土砂で住宅が埋まっている中、自衛隊や消防隊が安否不明者の発見・救出活動に懸命に取り組んでいました。また崩れた土砂で堰き止められている厚真川では近隣の複数の建設業者が土砂の撤去を行っていました。対策本部は同日夕方、道庁危機対策局に対して現地調査の結果報告と支援要請への早期対応を要請しました。

その後も道下大樹さんは地元・札幌市内の被害状況を調査し、復旧・復興に向けた活動に取り組んでいます。



◆宮坂厚真町長から支援要請を聞き取り



◆厚真川の土砂災害現場を調査



◆札幌市東区の被災現場を調査

国交省・道庁・JR 北海道に北の鉄路を守る提案

道下大樹さんが事務局長を務める立憲民主党 JR 北海道問題検討ワーキングチームが「JR 北海道問題に関する提案書」を取りまとめ、国土交通省、JR 北海道、道庁にそれぞれ手渡しました。提案書には基本的な考え方として、①「沿線自治体の意見・協議を尊重し、路線を維持する」②「JR 北海道の持続可能な経営に向けた具体的将来ビジョンを明確にする」③「国鉄分割民営化を行った責任として、国は長期的・抜本的支援で JR 北海道の再建に資する」など合計 24 項目に及ぶ路線維持の具体的方策を明記しています。道下大樹さんは、「今後も継続して道民の足である北の鉄路を守る取り組みを進めていく」と決意を述べました。



道下大樹さん活動記録

- 6月20日 衆議院本会議代表討論
- 6月22日 旧永山武四郎邸リニューアルオープン
- 6月24日 全国学童保育指導員学校開会集会
- 7月20日 JR北海道支援策を国交省申入れ
- 7月21日 第一管区海上保安本部総合訓練
- 7月29日 札幌平和塔記念大祭&慰霊法要
- 8月5日 北海道150年記念式典
- 8月19日 北海道開拓神社大みこし渡御参加
- 8月28日 原発ゼロの会米国大使館申入れ
- 9月3日 JR北海道と道に路線維持要請
- 9月8日 厚真町地震被害現地調査

6月20日の衆議院本会議では通常国会の会期が議題となり、会派を代表して道下大樹さんが討論に立ちました。カジノ法案などの悪法を通すための会期延長は断じて認められないと反対の意を表明した上で、今国会で繰り返された強権的な委員会運営や強行採決に触れ、「安倍政権と与党の国会運営はあまりに粗雑であり、数の力による強引かつ一方的で横暴、強権的だ。最終的には数の力で採決すればいいという、政権の都合ばかりを優先する身勝手な国会運営は絶対に認められない。数の力によって議会制民主主義を壊すような議会運営を繰り返せば、必ずや国民の厳しい審判を受けることになる」と断じました。



道下大樹さんの委員会や本会議における質問は衆議院インターネット審議中継の“ビデオライブラリ”でご覧になれます。

<http://www.shugiintv.go.jp>

地元札幌でも精力的に活動中！



道下大樹さんプロフィール



1975年12月24日北海道新得町生まれ。その後苫小牧市、八雲町に転居。八雲町立八雲小、留萌市立沖見小、旭川市立北鎮小、同啓北中、北海道旭川東高校を経て、1998年中央大学法学部法律学科卒業、同年から横路孝弘衆議院議員の公設秘書を務め、2007年北海道議会議員初当選（以後3期連続当選）。2017年の衆議院議員選挙に北海道1区から横路孝弘衆議院議員の後継として立候補し、小選挙区で当選を果たす。現在、衆院国土交通委員会、憲法審査会に所属、党国対委員長補佐、党税制調査会事務局長、党憲法調査会事務次長を務める。

H P <https://www.michishita-daiki.jp>

メール info@michishita-daiki.jp

F B <https://m.facebook.com/michishitadaiki/>

